

田沢湖の丸木舟を復元

玉川の酸性水導入から70年

田沢湖で、昭和のはじめまでクニマス漁などに使われていた丸木舟が復元され、6月12日、田沢湖瀉で進水式が行われました。

三浦久さん（田沢湖瀉）をはじめ、地域住民15人が作業に取り組み、約3年をかけて完成。田沢湖郷土資料館に保管されている、当時使用されていた丸木舟を参考にし製作しました。



この日の進水式で、「クニマス」と命名された丸木舟は、全長約6.4メートル、幅約50センチ。当時の漁の様子を再現し、集まった人々からは歓声が起きました。

丸木舟は今後、イベントなどで活用される予定です。

谷京子先生 読み聞かせ講習会

今回で7回目となる「谷京子先生読み聞かせ講習会」（主催：角館図書館ボランティア）が、6月15日、仙北市総合情報センターで行なわれました。

講習会には、仙北市をはじめ大仙市、横手市、美郷町の読み聞かせボランティアや保育士など約35人が参加しました。

午前は読み聞かせ時の絵本の持ち方、読み方など活動の基本となるべき事柄を、午後は実技を交え一人ひとりに指導をしていただきました。

参加者は、昼休みを惜しんで新刊の絵本のタイトルを書き写したり講師の先生に質問をしたりと有意義な1日となりました。



仙北市に新たな特産品を

ハーブの一種「ルバーブ」を栽培

仙北市では秋田大学教育学部の島澤諭准教授、アロマ田沢湖との共同で新たな特産品開発を目指し、「ルバーブ」の栽培を開始しました。



ハーブの一種、タデ科の植物であるルバーブは、シベリア南部原産の多年草。荒地や寒さに強く、欧米ではジャムやお菓子の具材として調理されています。

6月7日に島澤諭准教授とゼミ生がアロマ田沢湖を訪れ、ルバーブの苗を植えました。管理はアロマ田沢湖が行い、大学でも生育状況の調査など行います。収穫は9月半ばに見込まれ、その後ジャムなどに加工する予定。学生の皆さんの自由な発想で、どんな特産品が誕生するのか。秋が楽しみです。



懐かしい顔・顔・顔

東京田沢湖会総会

6月6日（日）ホテル・ルポール麴町（都内千代田区）を会場に第24回東京田沢湖会・総会が開催され、約100人の懐かしい顔が集いました。

たけのこ、わらび、ミズ、アスパラ、地元の漬物、干し餅、おやきなど、ふるさとの味を集めた物産販売は、好評のうちに完売となりました。

市長は祝辞と市政報告、最後に会員の皆様に秋田弁で「ふるさとを想い続けて、ふるさとをじーっと見続けてでけれ〜」と熱いラブコールを送りました。

その後、民謡ショーやお楽しみ抽選会などで盛り上がり、お互いの近況や故郷の思い出話に花が咲きました。

